

大阪
市会だより

11月号
令和3年

編集と発行／大阪市区事務局政策調査担当
〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20
☎6208-8694 FAX 6202-0508
大阪市会ホームページアドレス
https://www.city.osaka.lg.jp/shikai/

令和2年度 公営・準公営企業会計決算を認定

大阪市区は、8月市会（臨時会）を8月11日から12日まで、9～12月市会（定例会）を9月15日から開きました。

8月市会では、新型コロナウイルス感染症の対策として、市長から提案された補正予算案などを審議しました（概要は2面で紹介）。9～12月市会では、9月から10月にかけて、おもに令和2年度の公営・準公営企業会計の決算について審議しました。11月以降は、おもに一般会計などの決算審議が行われます。

会議結果については、大阪市区ホームページの「会議結果」をご覧ください。

決算特別委員会って??

前年度の予算について、「実際はどのように使われたのか」、「きちんと使われたのか」を厳しく審査し、議論するための委員会です。大阪市区では、上・下水道などの「公営・準公営企業会計」と、それ以外の「一般会計」などの決算を審査するために、それぞれ特別委員会を設けます。

公営・準公営企業会計

決算特別委員会



水道・工業用水道事業

Q 水道施設の耐震化について

A 切迫する南海トラフ巨大地震に備えるため、地震発生時でも水道水を供給するために必要な機能を確保する工事を優先して進めています。強靱で、持続可能な信頼性の高い水道システムを構築するため、今後の経営収支の見通しを踏まえつつ、より高い投資効果が得られるよう工夫しながら、施設の耐震化や更新を進めます。

中央卸売市場事業

Q 市場の防災対策について

A 災害時にも継続的に生鮮食料品などを供給できるよう取り組むことは、極めて重要と考えています。東日本大震災後に整備を行ったほかの市場を参考に、大規模整備に合わせて、施設の立地条件や市場機能停止の回避といった視点も考慮した施設整備のあり方を検討していきます。

港営事業

Q 取扱貨物量の現状について

A 大阪港の令和3年1月から8月までの取扱貨物量は、前年比3%増となり、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年と同程度となりました。コロナ禍での「巣ごもり需要」などに対して、コンテナサービスを維持するなどの事業者の努力や、大阪港が市民生活や経済活動を支える輸入港としての役割を果たしたことが、その要因であると考えます。



大阪港コンテナ埠頭

下水道事業

Q 令和2年度決算が赤字になった原因について

A ホテルなどの使用水量の減（約37億円減・緊急事態宣言などの影響）と、基本額の減免（約27億円減・令和2年7～9月実施）により、約64億円の減収となったことが原因です。今後は、経済の回復と連動して改善していくと見込んでいますが、社会情勢の変化に対応できるよう、定期的に収支見通しの試算を行い、安定的な経営に努めます。

Q コロナ禍での今後の経営の見通しについて

A 新型コロナウイルス感染症の拡大による生活様式の変化は、今後の水需要や収益に影響をもたらすと考え、将来の水需要と収益予測の見直しを始めました。それらを踏まえ、経営戦略を新型コロナウイルスに伴う環境の変化とその対応策を反映させた内容に修正し、着実な経営を行うことで、安全・安心な水道水を安定して供給するよう努めます。

Q 市場の活性化について

A 取引の自由度を高め、取引参加者が多様なニーズに柔軟に対応することで、集荷機能や販売機能の強化につなげます。また、基盤整備を大阪市区が行い、保冷加工設備は市場内事業者が設置するなど、官民で役割分担して施設整備を行います。これら「市場機能の強化」と「事業者との連携強化」の取り組みにより、市場の活性化につなげていきます。

Q 夢洲の液状化などの課題について

A 夢洲は、これまでの「産業・物流拠点」から「国際観光拠点」へと政策転換したため、IR事業用地として高い安全性を確保できる土地を提供することが必須です。9月28日にIR事業者を選定しており、今後はその提案内容を踏まえ、土地課題への具体的な対応策などを検討し、区域整備計画と合わせて審議できるよう、年内をめどに示していきます。

Q 下水道施設（ポンプ棟など）の浸水対策について

A 排水ポンプ棟が水没して機能が停止することがないように、改修時期に合わせて防水扉や防水板を設置するなど、ポンプ棟内部への浸水防止対策を進めています。今後は、大阪市区内の下水道施設について、河川氾濫や内水氾濫に対する浸水対策計画を令和3年度中にとりまとめ、対策工事を令和13年度までに完了させる予定です。

令和2年度 公営・準公営企業会計決算

事業名	①収益		②費用		(①-②) 差引		当年度末処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	
	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円
水 道	559	9,515	500	5,437	59	4,078	219	2,775
工業用水道	14	8,462	11	8,895	2	9,567	10	6,663
中央卸売市場	70	2,115	68	9,329	1	2,786	△350	135
港 営	116	1,754	57	2,169	58	9,585	△1,413	7,978
下 水 道	740	6,289	743	9,209	△3	2,920	46	2,846

※1万円未満切り捨て

決算特別委員会委員（公営・準公営企業会計）



委員長
すぎた ただひろ
杉田 忠裕(公明)

(維新)	大西しゅういち 藤田あきら *宮脇 希 上田 智隆	塩中 一成 山田はじめ ○黒田まりこ 吉見みさこ	野上 らん 岡崎 太 佐々木りえ
(公明)	山本 智子 ○岸本 栄	小山 光明	*佐々木哲夫
(自民)	有本 純子 多賀谷俊史	*山本 長助 加藤 仁子	川嶋 広稔
(経団連)	*松崎 孔	(共産)	*長岡ゆりこ

記 号 ○…副委員長 *…会派代表者 各会派ごとに行政区・50音順に掲載(委員長は除く)